

■開山

鎌倉時代後半の弘安5年(1282)、とぎの執権北条時宗が中国・宋より招いた無学祖元禅師により、円覚寺は開山されました。開基である時宗公は18歳で執権職につき、無学祖元禅師を師として深く禅宗に帰依されていました。国家の鎮護、禅を弘めたいという願い、そして蒙古襲来による殉死者を、敵味方の区別なく平等に弔うため、円覚寺の建立を発願されました。

■名前の由来

円覚寺の寺名の由来は、建立の際、大乘經典の「円覚経」が出土したことからといわれます。また山号である「瑞鹿山(めでたい鹿のおやま)」は、仏殿開堂落慶の折、開山・無学祖元禅師の法話を聞こうとして白鹿が集まったという逸話からつけられたといわれます。無学祖元禅師の法灯は高峰頭日禅師、夢窓疎石禅師と受け継がれ、その法脈は室町時代に日本の禅の中心的存在となり、五山文学や室町文化に大きな影響を与えました。

■歴史

円覚寺は創建以来、北条氏をはじめ朝廷や幕府からの篤い帰依を受け、寺領の寄進などにより経済的基盤を整え、鎌倉時代末期には伽藍が整備されました。室町時代から江戸時代にかけて、いくたびかの火災に遭い、衰微したこともありますが、江戸時代後期(天明年間)に大用国師が僧堂・山門等の伽藍を復興され、宗風の刷新を図り今日の円覚寺の基礎を築かれました。明治時代以降、今北洪川老師・釈宗演老師の師弟のもとに雲水や居士が参集し、多くの人材を輩出しました。今日の静寂な伽藍は、創建以来の七堂伽藍の形式を伝えており、現在もさまざまな坐禅会が行われています。

(引用:<http://www.engakuji.or.jp/about.html>)



0001_円覚寺



0002_円覚寺



0003_円覚寺



0004_円覚寺



0005_円覚寺



0006_円覚寺



0007_円覚寺



0008_円覚寺



0009_円覚寺



0010_円覚寺



0011_円覚寺



0012_円覚寺



0013_円覚寺



0014_円覚寺



0015_円覚寺



0016_円覚寺



0017_円覚寺



0018_円覚寺



0019_円覚寺



0020_円覚寺



0021_円覚寺



0022_円覚寺



0023_円覚寺



0024_円覚寺



0025_円覚寺



0026_円覚寺



0027_円覚寺



0028_円覚寺



0029_円覚寺



0030_円覚寺



0031_円覚寺



0032_円覚寺



0033_円覚寺



0034_円覚寺



0035_円覚寺



0036_円覚寺



0037_円覚寺



0038_円覚寺



0039_円覚寺



0040_円覚寺



0041_円覚寺



0042_円覚寺



0043_円覚寺



0044_円覚寺



0045_円覚寺



0046_円覚寺



0047_円覚寺



0048_円覚寺



0049_円覚寺



0050_円覚寺



0051_円覚寺



0052_円覚寺



0053_円覚寺



0054_円覚寺



0055_円覚寺



0056_円覚寺



0057_円覚寺



0058_円覚寺



0059_円覚寺



0060_円覚寺



0061_円覚寺



0062_円覚寺



0063_円覚寺



0064_円覚寺



0065_円覚寺



0066_円覚寺



0067_円覚寺



0068_円覚寺



0069_円覚寺



0070_円覚寺



0071_円覚寺



0072_円覚寺



0073_円覚寺



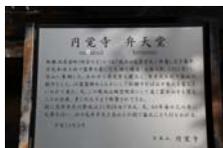
0074_円覚寺



0075_円覚寺



0076_円覚寺



0077_円覚寺



0078_円覚寺



0079_円覚寺



0080_円覚寺



0081_円覚寺



0082_円覚寺



0083_円覚寺



0084_円覚寺



0085_円覚寺



0086_円覚寺



0087_円覚寺



0088_円覚寺



0089_円覚寺



0090_円覚寺



0091_円覚寺



0092_円覚寺



0093_円覚寺



0094_円覚寺



0095_円覚寺



0096_円覚寺



0097_円覚寺



0098_円覚寺



0099_円覚寺



0100_円覚寺



0101_円覚寺



0102_円覚寺



0103_円覚寺



0104_円覚寺



0105_円覚寺



0106_円覚寺



0107_円覚寺



0108_円覚寺



0109_円覚寺



0110_円覚寺



0111_円覚寺



0112_円覚寺



0113_円覚寺



0114_円覚寺



0115_円覚寺



0116_円覚寺



0117_円覚寺



0118_円覚寺



0119_円覚寺



0120_円覚寺



0121_円覚寺



0122_円覚寺



0123_円覚寺



0124_円覚寺



0125_円覚寺



0126_円覚寺



0127_円覚寺



0128_円覚寺



0129_円覚寺



0130_円覚寺



0131_円覚寺



0132_円覚寺



0133_円覚寺



0134_円覚寺



0135_円覚寺



0136_円覚寺



0137_円覚寺



0138_円覚寺



0139_円覚寺



0140_円覚寺



0141_円覚寺



0142_円覚寺



0143_円覚寺



0144_円覚寺



0145_円覚寺



0146_円覚寺



0147_円覚寺



0148_円覚寺



0149_円覚寺



0150_円覚寺



0151_円覚寺



0152_円覚寺



0153_円覚寺